

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県西脇市 西脇病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透1未訓ガ	救臨へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
38,185	23,674	-	第2種該当	7：1

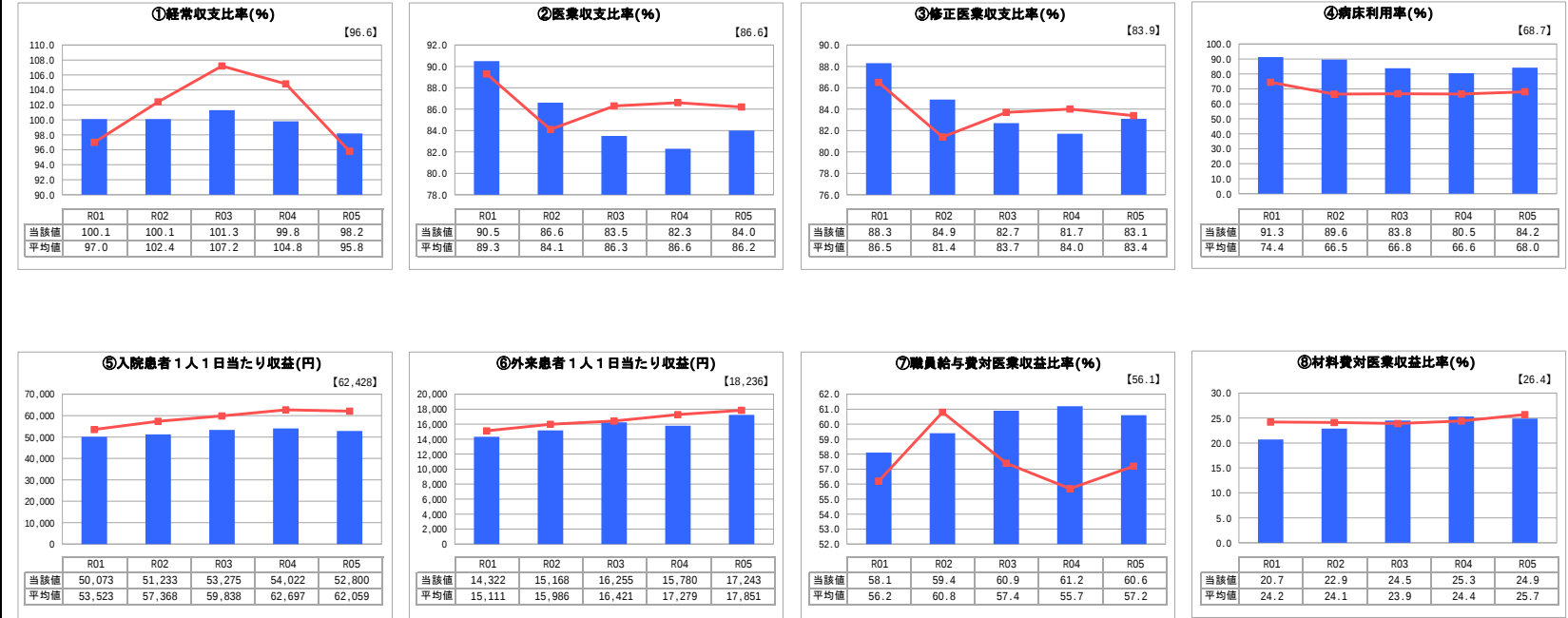
※1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

※2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

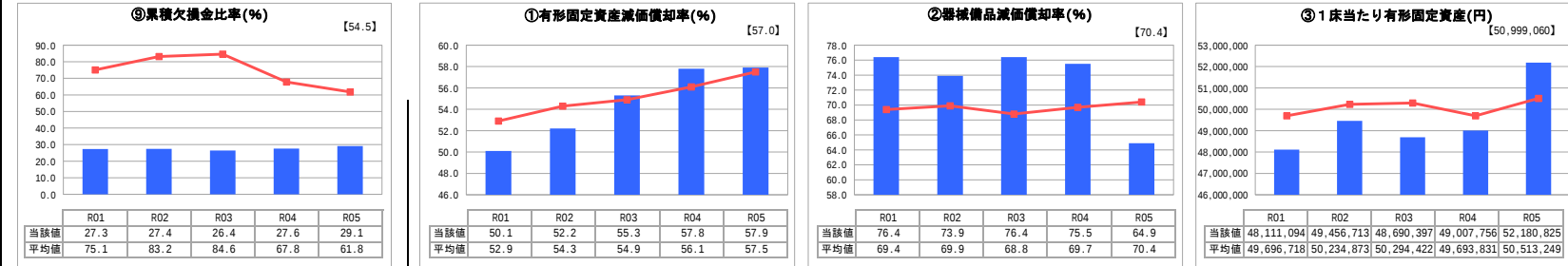
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
320	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	320
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
289	-	289

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の看護・ネットワークを含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

兵庫県保健医療計画が示す5疾病5事業及び在宅医療のうち4疾病（がん、脳卒中、糖尿病、精神疾患のうち認知症）と3事業（救急医療、災害医療、きき医療）について指定を受け、北播磨医療圏における専門医療を提供するとともに診療拠点の機能を担っています。併せて、地域医療支援病院として、医療機関の連携や在宅医療の推進強化を図っています。

新型コロナウイルス感染症への対応では、体制整備を図り「発熱トリアージ外来」を設けて診療するとともに、重点医療機関として陽性患者の入院受入れに尽力しました。5類移行後も引き続き入院受入れを継続しており、今後の新興感染症対策についても一定の役割を果たしてまいります。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

入院患者数の増加や外来診療単価の増加等に伴い、医業収支比率は増加していますが、入院患者1人1日当たりの収益については減少しています。

また、一般会計からの繰入金を加味した経営収支比率は、令和3年度までは100%を上回っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規入院や救急の受入れを一時的に制限したことにより、収益が上がり、令和4年度以降は100%を下回っています。

病床利用率は、84.2%となり、前年度より3.7ポイント上回っています。

今後も、充実した医療の提供及び費用の抑制に努め、地域のニーズに応えるべく医療体制の充実を図り、地域完結型の医療を目指してまいります。

2. 老朽化の状況について

平成21年3月に新病院が完成し、10数年経過しています。

有形固定資産減価償却率は、類似病院の平均値に近い状況で推移しているが、器械備品減価償却率は、前年度より10.6ポイント下回っています。これは、電子カルテシステム更新に伴い、部門システム等の更新も併せて行ったことが主な要因です。

今後も医療情勢に留意しながら、計画的に医療機器等を更新し体制を整備してまいります。

全体総括

北播磨医療圏における北部の拠点病院としての役割が求められています。その役割を果たすため、人材の確保や適切な機器整備等を行い、経営基盤の確立を目指してまいります。

また、地域包括ケアシステム構築の一環として、医療と介護の連携を進めるとともに、DPC医療制度により、効率的で効果的な医療サービスの提供を行う。新規入院患者数の増加を図るとともに、効率的に病床管理を行い、収益の確保に努めます。

経営収支比率が100%を下回り、厳しい経営状況が続いていますが、今後も、医療・介護制度改革などの動向に注視しながら、健全な経営を目指してまいります。